

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S01-01-01		
施設名	荒川さつき会館				
所在地	荒川八丁目16番13号				
部署名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成元年	422,749	422,749		
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成元年4月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成元年6月1日		職員数	3	0
構造	鉄筋コンクリート造	階層	2階		
面積	敷地面積		2,209.16㎡		
	延床面積		1,499.58㎡		
設置目的・経緯	地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与するとともに、人権施策の推進を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川さつき会館条例				
駐車場の状況	5台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	19台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	その他	一部委託(管理業務・清掃業務)	期間	平成元年		
				から	まで	
事業内容	(1) 区民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に係る事業 (2) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (3) 人権問題に係る啓発に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	区内在住・在勤・在学の方(団体利用は事前の団体登録が必要)					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	原則として、年末年始(12月29日～翌年1月3日)				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	年間利用者数(数)	47,317	9,717	10,324	27,780	34,930
	年間利用可能日数(日)	321	212	147	348	336
	年間団体利用件数(件)	2,247	789	726	1,372	1,757
	部屋別団体利用回転率(%)					
	体育室	93	72	79	67	78
	会議室・講習室・視聴覚室・和室	21	8	10	8	14
指定管理に係る費用						
備考	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための利用制限やワクチン接種会場の開設がなかったため、年間利用者数・年間利用可能日数・年間団体利用件数が令和3年度に比べて増加した。					

III 財務諸表

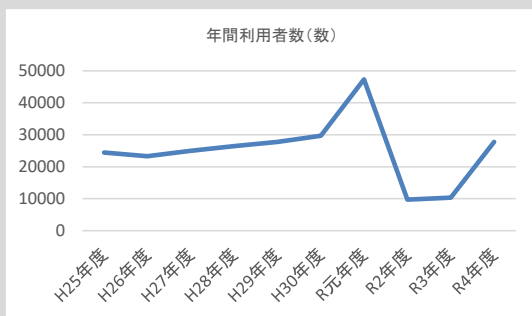
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	R3年度	R4年度	差額		R3年度	R4年度	差額	
行政費用	給与関係費	12,431	12,257	▲ 174	地方税等	0	0	0
	物件費	11,406	12,784	1,378	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	14,368	1,820	▲ 12,548	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	39	320	281	使用料及び手数料	403	1,010	607
	減価償却費	12,196	12,196	0	その他	113	166	53
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	516	1,176	660
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,524	621	▲ 1,903	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 52,448	▲ 38,822	13,626
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	52,964	39,998	▲ 12,966	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 52,448	▲ 38,822	13,626
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 52,448	▲ 38,822	13,626	
貸借対照表	勘定科目			流動負債	勘定科目			
	R3年度	R4年度	差額		R3年度	R4年度	差額	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	665	621	▲ 44
	有形固定資産	1,158,492	1,146,295	▲ 12,197	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,085,884	1,085,884	0	固定負債	7,848	5,348	▲ 2,500
	建物	439,065	439,065	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 366,457	▲ 378,654	▲ 12,197	退職給与引当金	7,848	5,348	▲ 2,500
	工作物等	10,233	10,233	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 10,233	▲ 10,233	0	負債の部合計	8,513	5,969	▲ 2,544	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,149,979	1,140,326	▲ 9,653	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,149,979	1,140,326	▲ 9,653	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,158,492	1,146,295	▲ 12,197	
資産の部合計	1,158,492	1,146,295	▲ 12,197					
備考	令和4年度は、令和3年度の給水管改修工事及びトイレ便器洋式化等改修工事の完了により、維持補修費が減少している。物件費の増の主な理由は、燃料価格高騰による電気料金の増や1階ロビーのフリーWiFi導入による通信料等の増である。							

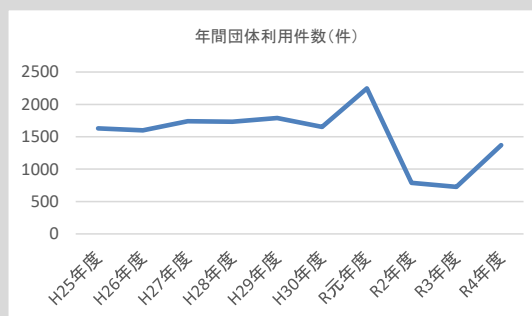
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	80	81	84	86.6	
1㎡当たりコスト(円)	29,942	27,096	35,319	26,673	
人にかかるコストの割合(%)	27	35	28	32.2	
受益者負担比率(%)	2	2	1	2.5	
利用者1人当たりコスト(円)	949	4,182	5,130	1,440	
開館1日当たりコスト(円)	139,879	191,665	360,299	114,937	
財務指標・評価指標等					
備考	令和4年度は、令和3年度の給水管改修工事及びトイレ便器洋式化等改修工事の完了等により年間のコストが減少し、年間利用者数や年間利用可能日数が増加したことにより、「利用者1人当たりコスト」や「開館1日当たりコスト」が減少している。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )						
目標指標	指標名・単位	目標値	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	団体利用回転率	実績値	35	19	25	20	26
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無						
利用者・地域のニーズ	地域住民の相互交流の拠点として、人権啓発を推進していくために必要性は高い。						
現状・課題	○人権施策推進の拠点及び地域住民の相互交流としての会館づくり 地域住民の相互交流を促すとともに、人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行う必要がある。 ○利用率の向上 施設の利用率向上に向けて、更なる有効活用を図る必要がある。 ○施設の老朽化 開館から30年以上経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきている。						
課題に対する現時点での考え	○人権施策推進拠点として、人権問題を身近な問題として考えてもらえるような啓発・相談事業を引き続き行っていく。また、地域の交流拠点としての在り方について検討していく。 ○体育室以外の各室の利用率向上のため、事業の企画や見直しなどを検討していく。 ○施設の老朽化及び施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買替え等を計画的に行っていく。						
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について						



令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための利用制限やワクチン接種会場の開設がなかったため、年間利用者数が令和3年度に比べて増加した。



令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための利用制限やワクチン接種会場の開設がなかったため、年間団体利用件数が令和3年度に比べて増加した。

令和5年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S01-01-02		
施設名	男女平等推進センター（アクト21）				
所在地	東尾久五丁目9番3号				
部署名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成8年			
	増改築①				
増改築②					
併設施設	熊野前ひろば館				
竣工年月日	平成8年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成8年7月		職員数	3	0
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階・地下2階		
面積	敷地面積		1031.56㎡		
	延床面積		1468.65㎡		
設置目的・経緯	女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現をめざすための拠点とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立男女平等推進センター条例、同施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業 (4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業 (5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業 (6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業					
対象者	男女平等推進団体、一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、定期清掃日(年4回)				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	年間利用可能日数(日)	37,571	16,502	41,357	51,990	39,192
	年間貸出施設利用件数(件)	353	301	355	355	356
	相談件数(件)	1,598	842	1,795	2,493	1,613
		358	336	241	279	299
に指定管理 に係る費用						
備考	年間施設利用者数の推移について、コロナ禍で元年度は1か月間ホール及び交流コーナーの休止、2年度は2か月間休館及び6か月間交流コーナーの休止や施設使用制限のため、利用者数・貸出件数が減少した。3年度は2か月間コロナワクチン接種会場、4年度は創作室が1年間PCR会場となったため、利用者数・貸出件数が増加した。					

**III 財務諸表**

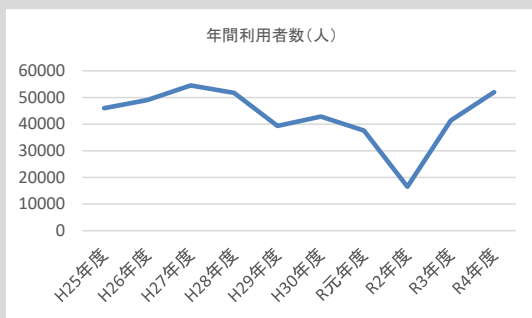
(単位:千円)

勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	21,348	21,583	235	地方税等	0	0	0	
	物件費	22,510	23,916	1,406	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	1,245	1,915	670	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,895	3,136	241	使用料及び手数料	3,074	4,657	1,583	
	減価償却費	25,952	25,952	0	その他	73	117	44	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,147	4,774	1,627	
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,335	1,093	▲ 3,242	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 75,138	▲ 72,821	2,317	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 4	▲ 5	▲ 1	
	行政費用合計(b)	78,285	77,595	▲ 690	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 75,142	▲ 72,826	2,316	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 75,142	▲ 72,826	2,316	
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	1,142	2,591	1,449	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	1,498	1,498	
	有形固定資産	922,548	896,595	▲ 25,953	賞与引当金	1,142	1,093	▲ 49	
	土地	636,112	636,112	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	961,193	961,193	0	固定負債	25,477	19,919	▲ 5,558	
	建物減価償却累計額	▲ 674,758	▲ 700,710	▲ 25,952	特別区債	12,000	10,502	▲ 1,498	
	工作物等	7,279	7,279	0	退職給与引当金	13,477	9,417	▲ 4,060	
	工作物等減価償却累計額	▲ 7,279	▲ 7,279	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	26,619	22,510	▲ 4,109	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	895,929	874,085	▲ 21,844	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	895,929	874,085	▲ 21,844		
資産の部合計	922,548	896,595	▲ 25,953	負債及び正味財産の部合計	922,548	896,595	▲ 25,953		
備考	4年度は、燃料価格高騰による電気料金の増や交流コーナーのフリーWiFi導入による通信料等の増により物件費が増加している。また、4年度は年間を通して創作室がPCR検査会場となったため、前年度に比べ行政収入(使用料及び手数料)が増加している。								

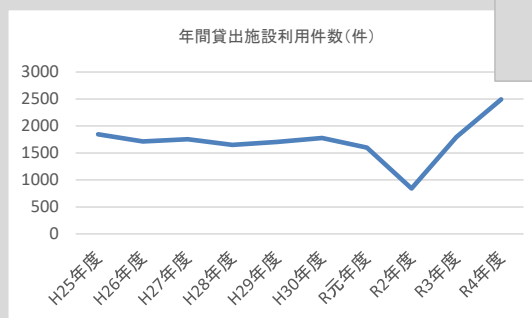
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	65	68	70	73.1	
	1㎡当たりコスト(円)	50,634	59,958	53,304	52,834	
	人にかかるコストの割合(%)	32	27	33	29.2	
	受益者負担比率(%)	5	1	4	6.0	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,979	5,336	1,893	1,492	
	開館1日当たりコスト(円)	210,660	292,551	220,521	218,577	
評価指標等						
備考	4年度は3年度に対し、1㎡当たりコストが470円減少、利用者1人当たりコストが331円減少、開館1日当たりコストが1,944円減少している。主な理由は、3年度はコロナ禍での利用制限等があり行政収入が回復しきれなかったが、4年度は年間を通じて創作室がPCR検査会場になるなど貸室利用や利用人数が増加したためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )						
目標指標	指標名・単位	目標値	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	施設利用回転率(%)	実績値	33	20	34	48	36
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	男女共同参画に関する啓発や男女共同参画の拠点として、区民相互の交流を推進するコミュニティ施設を確保する必要性は高い。						
現状・課題	<p>○事業や施設をよりPRできる方法の検討 令和4年度は、PCR検査会場として創作室を利用したことに伴い、行政収入が増加した。令和3年度にコロナワクチン接種会場となり、今まで施設を知らなかった人へのPRになった。区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割も担っていることから、より広く区民に実施事業や施設をPRしていく必要がある。</p> <p>○施設の老朽化 有形固定資産減価償却率が年々上昇している。平成8年の開設から26年が経過し、経年劣化に修繕の必要箇所が増えているため、今後、大幅な維持補修費の増加が想定される。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○利用件数・利用者数ともに増加を図るため、引き続き、新しい施策・PRを考えていく。</p> <p>○利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修・修繕に取り組んでいくほか、老朽に伴う緊急の修繕が必要になった場合は、迅速に対応していく。</p>						
議会、利用者等からの意見	(平成28年アクト21区民アドバイザー会議) 継続的な活動のための支援、事業への参加しやすさへの配慮						



2年度は2か月間休館や施設使用制限等のため、利用者数が減少した。3年度は2か月間コロナワクチン接種会場、4年度は創作室が1年間PCR会場となったため、利用者数が増加した。



2年度は2か月間休館や施設使用制限等のため、利用件数が減少した。3年度は2か月間コロナワクチン接種会場、4年度は創作室が1年間PCR会場となったため、利用件数が増加した。